

診療用エックス線装置及びエックス線診療室の構造設備

1 診療施設の名称							
所在地							
2 エックス線装置の製作者名、型式、台数							
3 エックス線高電圧発生装置の定格出力							
台数		台					
製作者名							
型式							
製造年月日		年 月 日			年 月 日		
装置のタイプ		固定式（移動不能なもの） 可動式（移動可能なもの） ポータブル			固定式（移動不能なもの） 可動式（移動可能なもの） ポータブル		
高電圧発生装置の 定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
	長時間	kV	mA	—	kV	mA	—
	間短時間	kV	mA	秒	kV	mA	秒
	蓄電式	kV	mA	—	kV	mA	—
主な用途		撮 影 ・ 透 視 ・ 治 療			撮 影 ・ 透 視 ・ 治 療		
設置時の状態		新品 ・ 中古品			新品 ・ 中古品		
設置年月日		年 月 日			年 月 日		

4-1 エックス線装置の放射線障害防止に関する構造設備の概要

ア エックス線装置の共通事項

照 射 筒	有 ・ 無	有 ・ 無
絞 り	有 ・ 無	有 ・ 無
エックス線管の容器及び照射筒の漏れ放射線	ミリグレイ毎時	ミリグレイ毎時
総 ろ 過 量 (アルミニウム当量)	ミリメートル	ミリメートル

イ 透視用エックス線装置

透 視 用 画 像 モ ニ タ ー の 種 類	蛍光板、イメージインテンシファイア、 その他 ()	蛍光板、イメージインテンシファイア、その他 ()
透視時間積算警告音 発 生 タ イ マ ー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板有効面積外 照 射 防 止 装 置	有 ・ 無	有 ・ 無
受像器通過後の放射線量	マイクロ グレイ毎時	マイクロ グレイ毎時
透視時の最大照射野 通 過 後 の 放 射 線 量	マイクロ グレイ毎時	マイクロ グレイ毎時
被 照 射 体 周 囲 の 散 乱 線 防 護	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径(口内法撮影 用エックス線装置の場合)	センチメートル	センチメートル
エックス線管焦点及び被照射体から作業従事者までの 距離(移動型及び携帯型エッ クス線装置並びに手術中使用 の エ ッ ク ス 線 装 置)	メートル	メートル

エ 治療用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
ろ 過 板 保 持 装 置 (イン タ ー ロ ッ ク)	有 ・ 無	有 ・ 無

4-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数		回			
1 週間の延べ透視時間		時間			
診療施設の概要	形態	独立家屋（ 階建て）、 マンション等の集合家屋（ 階建て 階）、 その他（ ）			
	構造	耐火構造（ ）、 木造・モルタル、プレハブ、その他（ ）			
エックス線診療室の概要	形態	エックス線診療専用の室、 診察室と兼用の室、手術室と兼用の室、 その他（ ）			
	操作室の有無	有 ・ 無			
診療室等の遮へい物等の概要	療 室 分		材 質	厚 さ	放射線防護に関する措置
	天 井				
	床				
	周囲の遮へい物等（壁を含む）	東 側			
		西 側			
		南 側			
		北 側			
	出入口の扉				
診療室の遮へい物の外側における最大放射線量		（ ミリシーベルト／1 週間 マイクロシーベルト／1 時間）			
標 識 の 有 無		有 ・ 無			
注 意 事 項 の 掲 示		有 ・ 無			

4-3 診療施設における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	ミリシーベルト／3か月
	立入制限措置	遮へい物（材質等： ）による区画、 白線による区画、 その他（ ）
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の 居住区域 及び敷地 の境界	人が居住する区域における 最大放射線量	マイクロシーベルト／3か月
	敷地の境界における最大放 射線量	マイクロシーベルト／3か月
その他	診療施設の見取り図	(別添1)
	エックス線装置を使用する 室の遮へい物等の配置状況	(別添2)

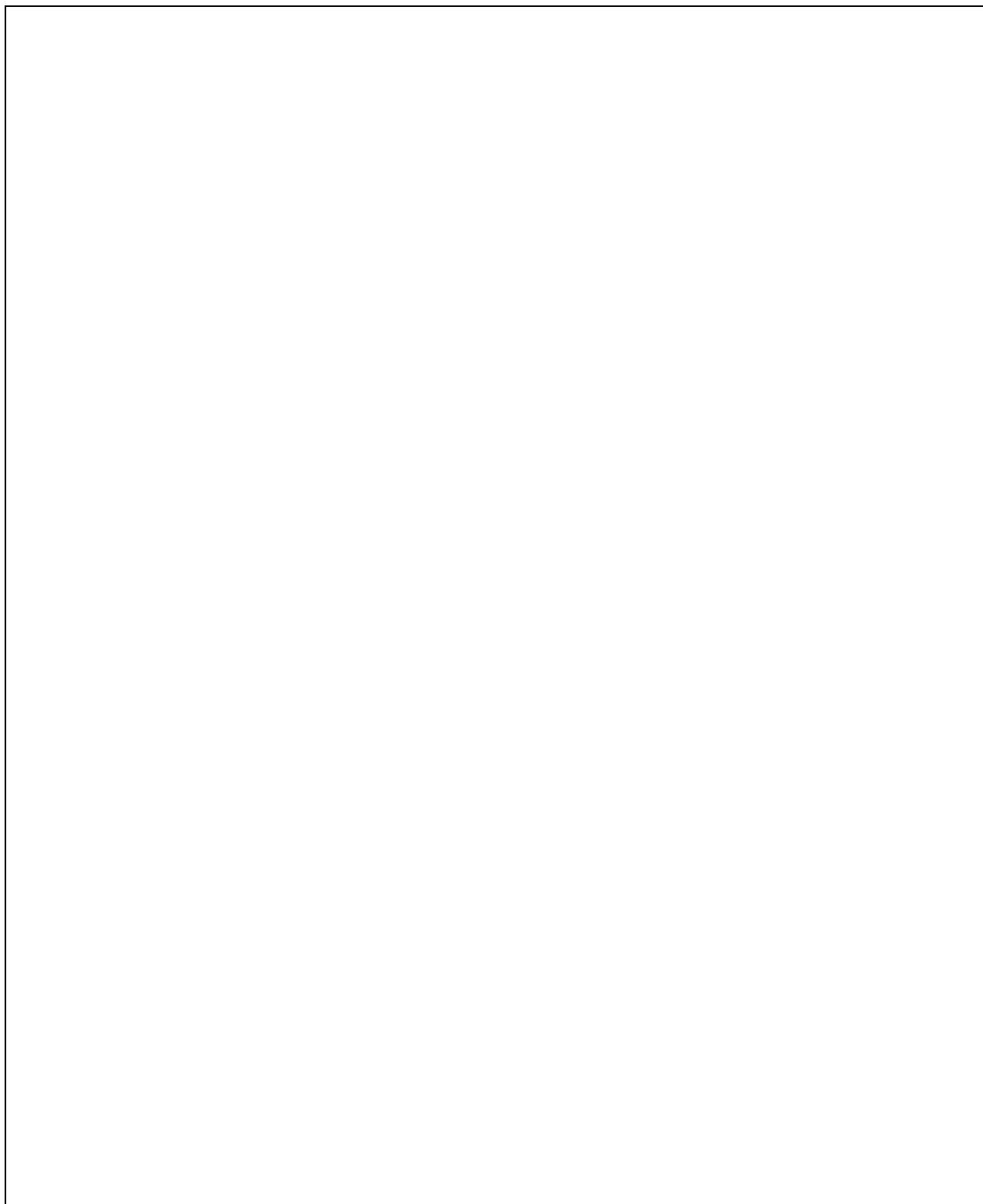
4-4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ ），防護エプロン（ ） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療従事者等の 放射線測定機器等の保有状況	フィルムバッジ（ ）、ポケット線量計（ ） 蛍光ガラス線量計（ ）、ルクセルバッジ（ ） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療室等の 放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)
線量測定方法	実測 ・ 計測
実測測定器名	
その他の措置（健康診断等）	

5 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	年齢	エックス線診療に関する経歴

エ ッ ク ス 線 診 療 室 図



注(1)エックス線診療室図とは隣接室名、若しくは上、下階の室名を記入した平面図及び側面図とする。

(2)診療室図には、照射方向、エックス線管と天井、床、周囲の壁との距離(m)その他防護物等を明記する。

(3)画壁の鉛当量は合成値で表すものとする。

(4)エックス線診療室遮へい計算書を添付すること。

エックス線量を測定している場合は、エックス線量測定証票を併せて添付すること。

